

日本NGO連携無償資金協力
ミャンマー少数民族地域におけるアグリビジネスによる地域開発プロジェクト
(第1期)

補足資料

・ 第3期事業総評	1
・ ベース・プロジェクト	
1. 産業統合型農場の基盤整備（基盤整備分野）	3
1-1. 農業施設の整備細評	
2. 生産・教育・マーケット開拓活動（収入向上分野）	8
2-1. 生産活動細評	
2-1-1. 農場での農業、畜産活動	
2-1-2. 村内コミュニティとの共同農業生産物	
2-2. 教育活動細評	
2-3. マーケット開拓活動細評	
2-3-1. 市場調査と市場開拓活動	
2-3-2. 品質証明活動	
2-3-3. 認知・販売促進活動	
2-3-4. マーケティングワークショップ	
・ 3. 政府・EAO共同活動（和平構築活動分野）	45
3-1. DoA実験農場内の施設整備細評	
3-2. モデル農場内での栽培活動細評	
3-3. 州政府農業専門家による農業研修細評	
3-4. 事業評価活動細評細評	
◆DAC評価	
・ サテライト・プロジェクト	
4. 地域開発とネットワーク構築（コミュニティ開発分野）	59
4-1. 指導者研修（TOT）細評	
4-2. 農業普及活動細評	
4-2-1. 農業普及員と連携した農業開発活動	
4-2-2. カウンターパート施設にて生産活動	
4-2-3. 契約生産活動	
4-3. 市場供給の基盤整備細評	

ミャンマー少数民族地域におけるアグリビジネスによる地域開発プロジェクト

(第1期)

事業総評

【活動実施体制】

事業実施団体： 特定非営利活動法人グレートメコンセンター（NPO-Greater Mekong Center）

現地提携団体：（ミャンマー側） Greater Mekong Subregion Agriculture and Education Development Center
（タイ側） Thai Japan Education Development Foundation

パートナーシップ： 公益財団法人 日本財団（The Nippon Foundation）

カウンターパート： ミャンマー連邦カレン州農業畜産灌漑省（Ministry of Agriculture, Livestock, Irrigation, Kayin state）
カレン民族同盟（Karen National Union）
カレン民族同盟・民族解放軍平和評議会（Karen National Union/Karen National Liberation Army Peace Council）
レーケーコー環境保全農場（Lay Kay Kaw Ecological Farm）
ティーワープラオ委員会（Hti War Plaw Committee）
カレン農業省（Karen Agriculture Department）

【事業の必要性と課題への挑戦】

本事業は「少数民族との国民和解に向けた日本政府の支援」実施事業である。国民和解にむけて本団体が認識する問題点と克服すべき課題は以下の通り。

- ・ 少数民族地域は政府支配地域と比較して貧しい
- ・ しかも少数民族地域全般に貧困が蔓延している
- ・ 中央政府の支援がなく国際機関の支援活動の機会も乏しい

従って、本団体は数少ない国際NGOの支援活動の一環として少数民族地域の貧困脱却、民生の安定向上を通じて**国民和解、平和構築に貢献することを目的**として活動する。

本事業では、外務省のN連事業による資金援助を受け、下記の理由に基づき、**アグリビジネスを通じた少数民族地域開発**を行う。本団体はミャンマー連邦カレン州農業畜産灌漑省と少数民族農業団体の両者とMOUを交わしている。

- ・ ミャンマー政府は農畜産業の生産性向上と農村経済の発展による貧困削減を重要課題として掲げている。
- ・ 少数民族地域では、農業が唯一の産業である

なお**地域開発の考え方は以下の通り**で、次項で具体的な事業内容と活動の関係性を記載する。

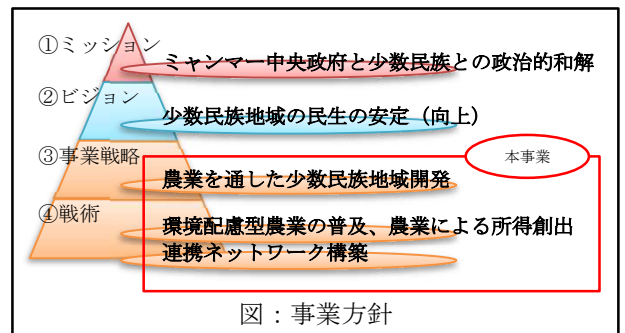
A. 換金農作物生産とマーケット開拓支援

- ・ 契約生産体制や直販農場契約、商品の共同開発といった形でのミャンマー国内外の企業との民間連携
- ・ 技術支援や民間企業の紹介等といった形でのミャンマー行政との官民連携

B. 地域特性を活用した農畜産業の6次産業化

- ・ 加工業や付随サービス業にも取り組むことで、雇用を増やす地域複合アグリビジネスを進める

※例として、生産物の加工や農家レストランや農家民泊、観光農園、グリーンツーリズム等



ミャンマー少数民族地域におけるアグリビジネスによる地域開発プロジェクト

【事業内容と活動の関係性】

裨益ターゲットは少数民族地域支援の末端にある僻地コミュニティである。**活動④:コミュニティ開発**を目指しサテライト・プロジェクトを推進する。**活動①:基盤整備**、**活動②:収入向上**を実施して、サテライト・プロジェクトを支える。また本事業は和平構築活動であることから、**活動③:和平構築**を同時に行う

① 基盤整備分野（産業統合型農場の基盤整備）

- ・ 農業生産物の加工製造、観光・サービス業といった産業多角化経営のための公共施設整備を行う。
- ・ ワイナリー、観光農場といった集客機能を持たせ、地域への訪問者を増やし、地域全体の活性化を図る。

② 収入向上分野（生産・教育・マーケット開拓活動）

- ・ 各地域での収益向上のため、農場や難民帰還民と共に農業生産物、畜産物を生産する。
- ・ 教育活動として、行政機関や民間企業より専門家を招聘し、マーケットの需要を満足する技術移転を行う。
- ・ 各事業地で生産される農業生産物の市場調査と市場開拓を実施する。
- ・ 市場関係者（流通業者含む）と生産者をマッチングさせる。

③ 和平構築活動分野（政府と少数民族の共同活動）

- ・ EA0の協力のもと農業に関わる行政サービスが州政府より提供されることで格差是正を図る。
- ・ 共同活動での国民和解に向けた融和機会を提供する。

【上位目標】

カレン州少数民族地域での統合型の産業育成により、少数民族の収入を含めた民生が向上する

【評価】

事業目標を達成し、また本事業に対する関係者からの評価から判断しても、上位目標に向け、十分な貢献ができたと考える。

【事業目標】

産業統合型のアグリビジネスに必要な準備（知識向上、実施体制の構築、施設整備）が完了し、政府や民間企業との連携関係を構築することで、少数民族地域の経済活性化の足掛かり作りを図る。**:概ね計画通り達成**

【目標の達成度】

ベース・プロジェクト

1. 産業統合型農場の基盤整備が完了する（施設面での準備）：**計画通り達成**

- ・ 産業統合型農場の運営を開始するための施設整備が完了し、既に観光農場として稼働することができた
- ・ それに伴い、レストランや商店、お土産店等住民が所得を生み出せる環境が整い始めている。

2. 生産・教育・マーケット開拓を行うことで、自立に向けた足掛かりを作る：**概ね計画通り達成**

- ・ 契約生産体制、直販農場契約、商品の共同開発等、民間企業とも連携し、付加価値が向上した
- ・ Covid-19の影響を少しでも抑えるため、タイ側やオンラインにて、代替となる新たなマーケット開拓を行った
- ・ 販売に必要となる行政手続き（中小企業登録や一部の商品登録）が完了した
- ・ メディアやSNSによる広報で、観光農場の知名度が向上し、コロナ禍でも訪問客は増えている。
- ・ 観光農場についてのドキュメンタリー番組の制作も決定し、観光需要を喚起するための準備も整っている。

3. 政府と少数民族の信頼醸成により、行政サービスの格差が是正される：計画以上に達成

- ・ 連邦政府・州政府・少数民族と連携し、研修や作物の普及活動を行い、草の根での協力関係が強化された
- ・ 結果、両者と連携することで、国家研究を実施し、また国家事業での新たなスキームを構築した

サテライト・プロジェクト

4. 上述の成果が地域コミュニティへと広がる仕組みが構築される：**概ね計画以上に達成**

- ・ 国内外のマーケットと地域コミュニティを繋ぐことができ、コミュニティ住民の生活向上に貢献できた
- ・ 小規模農家の組織化を行うことで、マーケットを共同で開拓する等、小規模生産者の地位向上ができた